



東京都立墨東病院

連携だより

発行 東京都立墨東病院 事務局医事課
〒130-8575 東京都墨田区江東橋4-23-15
TEL: 03-3633-6151(代表)
<http://www.bokutoh-hp.metro.tokyo.jp>

VOL.55

明けましておめでとうございます



昨年は大変 お世話になりました

墨東病院長	梅北	信孝	(写真中央)
副院長	富山	順治	(前列左)
副院長	大島	哲	(前列右)
事務局長	八巻	昭宏	(後列中央)
看護部長	大田	敦子	(後列左)
医療連携室長	井手	隆文	(後列右)

平成28年の新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

地域医療機関の先生方には、昨年中もいろいろとお世話になり、また医療連携に多大なご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

一昨年、新棟が開設し、感染症対応および救急対応機能が強化されました。昨年は、既存棟の改修を進め、年末にはほぼ完了し、SCU、HCUなど多くの高度医療機能を強化いたしました。

SCU(脳卒中ケアユニット)は、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の患者さんに、迅速かつ精密に対応する専用病棟です。早期から脳卒中の治療とともに、リハビリを開始し、早い社会復帰を達成でき、また脳卒中パスによる連携も進んでおります。HCU(ハイケアユニット)は、重症度が高く、高度な治療や看護ケア・処置が必要な患者さんや大手術、緊急手術後の術後管理に対応する病棟です。ICUと一般病棟の中間に位置します。多くの重症患者さんを、安全にお受けできる体制を強化できました。

また患者サービスの向上を図り、ワンストップでの相談支援体制である患者支援センターを整備いたしました。入院前の患者さんの疑問や不安に対応する入院サポート、がん相談支援、また医療機関との連携を密接にし、患者さんの地域生活への早期復帰を支援する在宅療養移行支援などを行います。

MSW、看護相談、医療連携室などを同室にまとめ、患者さんの利便を図るとともに、職員間の意思伝達も良好となりました。

今後もICU、CCUの増床、小児単独病棟の新設、ハイブリッド手術室の新設などを計画しております。また総合周産期センターとしての役割の強化、東京都がん診療拠点病院としての体制整備も図っております。地域の基幹病院として、高度急性期医療を提供する体制が出来つつあると考えております。

さて医療法が改正され、少子高齢社会にむけて、入院医療機能の分化・強化と連携を進め、地域包括ケア体制を整備するため、病床機能報告制度、地域医療構想など、医療機関に新たな、先の見えにくい課題が与えられようとしています。

先生方も対応に苦慮されていることと存じます。当院は区東部唯一の公立病院として、行政医療、センター的機能を果たし、高度急性期病院として効率の良い、質の高い医療を提供いたすべく努力いたします。

医療の機能分担と連携により、地域の先生方と双方向の連携をさらに進め、患者さんの早期の社会復帰を可能にしていきたいと考えております。

地域医療のさらなる充実に向けて、本年もご指導、ご鞭撻のほど、よろしく申し上げます。

東京都立墨東病院 院長 梅北 信孝

整形外科



● 整形外科部長
● 金井宏幸

地域医療機関の先生方には、日頃から大変お世話になっております。昨年上半期の当科の紹介率は、91%に上昇しました。顔の見える連携を進めることができた結果だと思います。大変感謝申し上げます。

墨東病院整形外科では、変形性股関節症や膝関節症などの関節疾患、脊椎疾患、手の外科疾患の3分野の診療に力をいれています。変性疾患に対する人工関節手術の進歩は目覚ましく、以前では考えられなかったほどの長期耐久性が得られています。手術アプローチ方法も侵襲の少ない方法を取り入れており、早期離床と早期退院が獲得できています。主に私と田中医長が担当しています。

連携初診枠の他、木曜の午後に人工関節専門外来を開いていますのでご利用ください。脊椎疾患は、頸髄症や腰部脊柱管狭窄症が大部分を占めます。拡大術や除圧固定術を行っていますが、手術適応と責任病巣の的確な診断を重視して診療しています。主に小林医長が担当しています。手の外科疾患は、骨折や腱損傷などの外傷から変性疾患まで幅広く対応しています。マイクロサージャリーによる切断肢再接着や皮弁も施行しています。主に亀倉医長と保坂医員が担当しています。火曜日午前に手の外科専門外来も開いていますのでご利用ください。

患者さんのニーズは多種多様ですが、より多くの患者さんに安全で質の高い医療を提供できるよう努力してゆきたいと思います。返送や逆紹介を増やし、地域の先生方と双方向の連携をさらに進めてゆきたいと思います。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



看護部 便り

緩和ケアオレンジバルーンプロジェクト開催

毎年10月にはホスピス緩和ケア週間として、多くの病院で緩和ケアに関する様々なイベントが開催されています。墨東病院では昨年初めて、「知っていますか？緩和ケア」をテーマに、緩和ケアを知ってもらう啓発活動、オレンジバルーンプロジェクトのイベントを10月5日～9日に開催しました。

期間中、1階外来ホールにおいて、墨田区協賛による緩和ケアやがん治療に関するパネルの展示や、パンフレット・資料の紹介を行いました。また、賛育会病院のチャブレン山崎氏による「スピリチュアルケア」についての講演会を行い院内だけでなく、連携施設からも多くの方々に参加していただきました。

10月6日は、当院看護師によるスキンケアと自分のできるマッサージの実演、医師・看護師・ソーシャルワーカー・薬剤師、「NPO がんと暮らしを支える」から社会保険労務士の方にも参加して頂き、様々な悩みに関する相談などのイベントを開催しました。また、賛育会病院の看護師さんによる緩和ケア病棟の紹介も行いました。イベントには多くの患者さん、ご家族の参加があり、参

加していただいた方の半数以上が「緩和ケアについて知らなかった」「緩和ケアは終末期に受けるもの」と話されており、緩和ケアについて知っていただける良い機会となったと思います。

今年も墨東病院では、緩和ケアについての情報提供の機会として、学習会の開催を予定しています。2月には「がん患者の心のケア」について神経科医師、臨床心理士による講義を予定しておりますので、是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。

今後も墨東病院では、緩和ケアについて知っていただけるように、継続して啓発活動を行ってまいります。



紹介予約のご案内

当院の受診は救急の場合を除き、紹介予約制を原則としています。

緊急の場合

緊急の場合は必ずご一報下さい。

● 電話予約センター TEL:03(3633)5511(直通) 受付時間 午前8:30～午後5:00

● 月～土 午前9時～午後5時

TEL:03(3633)6151(代) 当該診療科の救急当番医師

● 診療放射線科検査予約 MRI・CT検査 TEL:03(3633)6191(FAXと兼用)
RI検査・放射線治療 TEL:03(3633)6192(FAXと兼用)
受付時間 午前9:00～午後5:00

● 夜間、休日

TEL:03(3633)6151(代) ER担当

● 問い合わせ先 医事課「医療連携係」 TEL:03(3633)6151(代表) 内線2115
FAX:03(3633)7130

● 三次救急

TEL:03(3633)6151(代表) 救命救急センター

● 診療放射線科検査予約の用紙はホームページからダウンロードできます。

墨東病院ホームページ → 医療関係者の皆様へ → 医療連携のご案内 → 検査予約のご案内